

災害時の障害者避難 物語に

豊橋・さくらピア HPでラジオドラマ



豊橋市障害者福祉会館の防災コンテストで最優秀（さくらピア）が脚本を秀賞に選ばれた作品で、担当したラジオドラマ「災害時の備えに生かし「障がい者が避難所にきてほしい」との願いがあったら」が二十日、さくらピアのホームページで自らが主体的に防災に取り組めた。二月に防災科学技術研究所（茨城県つくば市）泊二日の避難所体験を実施

震度6の地震を想定し、知的障害者がパニックを起こすなど、障害がある人が地域の避難所に避難したことで巻き起こる混乱や市民の本音、周りが協力して解決を目指すストーリー。

脚本を基に、豊橋市が市民の声を吹き込んでラジオドラマ化し、地元のFM局で放送された。五編あり、計十四分ほど。市防災危機管理課や広報広聴課などでCDを貸し出している。

さくらピア事務長の本田栄子さん（左）は「障害者も参加した貴重な資料。各地域の研修に使ってもらい、話し合いのきっかけになれば」と話す。（相沢紀衣）

さくらピアのホームページを紹介する本田さん＝豊橋市で

中日新聞

平成 27 年 10 月 21 日(水)